

市民参加懇談会の活動について

原子力委員会
市民参加懇談会

1. 設置の趣旨

原子力政策は、国民・社会との関係を重視し、国民の信頼、立地地域との共生などを大前提として進めなければなりません。現在、原子力政策を取り巻く状況は厳しさを増しています。そこで、原子力政策の策定プロセスにおける市民参加の拡大を図り、市民との信頼関係を確立するための方策を検討するために、市民参加懇談会を設置しました。（詳細は、別添 - 1「市民参加懇談会について - 活動の目的と内容 - 」をご覧ください。）

2. これまでの活動

(1) 「市民参加懇談会」コアメンバー会議による企画・検討

「市民参加懇談会」コアメンバー会議は、評論家、ジャーナリスト、学識者、消費者等、多様な立場の方々をメンバーとしており（別添 - 2 をご覧ください。）、地域での懇談会をどのように開催していくか、といったことをはじめ、原子力政策策定への市民参加の拡大を目指して、さまざまな方策について企画・検討しています。

(2) 地域での懇談会開催

市民参加懇談会 in かりわ（平成 14 年 1 月 15 日）

「わたし達がエネルギーを大切に使うためには、どういう暮らし方がいいか。」

「エネルギー供給のあり方は、どうあったらよいか。」、「いま、原子力発電に求められるものは何か。」をテーマに、開催しました。刈羽村の方を中心に約 100 名の参加があり、原子力やプルサーマルについて、また、国・事業者や住民の姿勢について、多様な意見が出されました。

開催にあたっては、刈羽村の有志の方々と何度も意見交換を重ね、開催日やテーマ、発言者等について決めていきました。

市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 7 月 24 日）

「日本のエネルギーの需要と供給はどうあったらいいか。」、「原子力発電は必要か、あるいは不要か。」、「原子力政策決定過程と市民とのかかわり」をテーマに開催しま

した。約 110 名の参加があり、各界のエネルギーについての意識、原子力に関する意見、原子力委員会や市民参加懇談会への期待など、多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 11 月 19 日）

「知りたい情報は、届いているのか」 - 東京電力の不正記載を契機として - をテーマに開催しました。約 180 名の参加があり、情報公開、国や企業などの姿勢について多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 青森（平成 15 年 3 月 15 日）

「知りたい情報は届いていますか」 - 核燃料サイクルを考える - をテーマに開催しました。約 200 名の参加があり、情報公開のあり方や教育の必要性など多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 敦賀（平成 15 年 6 月 28 日）

「原子力と地域社会」 - 原子力が地域にもたらすプラスとマイナスを考える - をテーマに開催しました。約 250 名の参加があり、今後の共生のあり方やもんじゅの今後についてなど多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in さいたま（平成 15 年 10 月 14 日）

「この夏の電力危機とは何だったのか」 - 電力の消費地から安定供給を考える - をテーマに開催しました。約 170 名の参加があり、電力危機が起こった背景、電力危機が何をもたらしたかなどについて多様な意見が出されました。

第 7 回市民参加懇談会～長計へのご意見を述べていただく場として～（平成 16 年 3 月 27 日）

新たな原子力長期計画のあり方やその検討の進め方を審議、決定するための準備活動を開始したことから、「意見募集」を行い、応募していただいた方から直接ご意見を伺う場として開催しました。意見募集は 4 7 5 件の応募がありました。

約 110 名の参加があり、第 1 部「発言希望をいただいた方からご意見を聴く会」では、9 名の発言者の方からご意見を伺い、第 2 部「会場参加者、発言者からご意見を聴く会」では、挙手により会場参加者の 1 1 名の方からご意見を伺い、さらに伺ったご意見に関連して、第 1 部の発言者からもご意見を伺った。原子力長期計画のあり方、位置づけや原子力長期計画策定プロセスなど多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 i n 福島・ふたば（平成 16 年 5 月 22 日）

「原子力と暮らし」～これまでとこれから～をテーマに開催しました。約 170 名の参加があり、地域振興、信頼、生産地と消費地の温度差、原子力政策、原子力行政などについて多様な意見が出されました。

市民参加懇談会について
- 活動の目的と内容のご説明 -

原子力委員会
市民参加懇談会

原子力委員会は、原子力基本法において、設置することが定められています。その目的は、原子力の研究、開発及び利用に関する国の施策を計画的に遂行するとともに、原子力行政の民主的な運営を図ることにあります。また、原子力委員会は、原子力の研究、開発及び利用に関する事項について企画し、審議し、及び決定することが任務として定められています。これに基づき、「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」も策定されています。

1．市民参加懇談会設置の趣旨

「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」（平成12年11月24日原子力委員会決定）では、原子力政策は、国民・社会との関係をこれまで以上に重視し、国民の信頼、立地地域との共生などを大前提として進めていかなければならないことを指摘しています。

しかしながら、同計画決定後に、原子力政策を取り巻く状況は一層厳しさを増しており、あらためて、国民・社会との信頼関係を再構築するための努力が強く求められています。

そこで、原子力政策の策定プロセスにおける市民参加の拡大を図り、原子力政策に対する市民との信頼関係を確立するための方策を検討します。このような目的を果たすために、市民参加懇談会を設置しました。

2．各々の活動の目的と内容

(1) 「市民参加懇談会」コアメンバー会議

学識経験者、ジャーナリスト、オピニオンリーダー等、多様な立場の方々からなる専門委員をメンバーとした、『「市民参加懇談会」コアメンバー会議』を設置します。会議においては、地域での懇談会をどのように開催していくか、といったことをはじめ、原子力政策策定への市民参加の拡大を目指した、さまざまな方策について企画・検討していきます。

(2) 地域での懇談会開催

原子力政策における合意形成のあり方の一つとして、政策の策定プロセスや原子力行政について、直接市民の方々のご意見をうかがい（広聴）、それを政策策定の場に直接報告していくこと（フィードバック）、さらにこれらを繰り返していくことが重要であるとの認識の下、「市民との懇談会」を開催していきます。

懇談会の開催にあたっては、広く市民の方々からご意見をうかがう「広聴」を目的とし、会の開催日、会場、進行の仕方、テーマ、参加者等についても、開催地域の方々と共にアイデアを出し合い、ご相談しながら進めていきたいと考えています。

また、懇談会は、できるだけ多くの方々の「ご意見をうかがう場」であり、コアメンバーは、市民の方々からのご意見・ご提言に耳を傾け、適切な判断によって、その結果を原子力委員会に報告・提案いたします。

「市民参加懇談会」コアメンバー会議構成員

木元	教子	(きもと のりこ)	原子力委員会委員
碧海	西葵	(あおみ ゆき)	消費生活アドバイザー
新井	光雄	(あらい みつお)	エネルギージャーナリスト
井上	チイ子	(いのうえ ちいこ)	生活情報評論家(NPO法人 暮らし、環境、エネルギーネット理事長)
岡本	浩一	(おかもと こういち)	東洋英和女学院大学人間科学部教授
小川	順子	(おがわ じゅんこ)	WIN-Global、WIN-Japan会長
小沢	遼子	(おざわ りょうこ)	社会評論家
加藤	秀樹	(かとう ひでき)	構想日本代表
蟹瀬	誠一	(かにせ せいいち)	ジャーナリスト、キャスター
吉川	肇子	(きっかわ としこ)	慶應義塾大学商学部助教授
高木	美也子	(たかぎ みやこ)	日本大学総合科学研究所教授
東嶋	和子	(とうじま わこ)	ジャーナリスト
中村	浩美	(なかむら ひろみ)	科学ジャーナリスト
松田	美夜子	(まつだ みやこ)	生活環境評論家(廃棄物とリサイクル)
吉岡	斉	(よしおか ひとし)	九州大学大学院比較社会文化研究院教授

市民参加懇談会のこれまでの活動

平成13年

7月 3日 市民参加懇談会を設置

9月20日 第1回企画メンバー会合開催

- ・市民参加懇談会の今後の運営について
- ・市民参加懇談会の平成13年度の活動のポイント

10月29日 第2回企画メンバー会合開催

- ・原子力政策における「対話・懇談の場」の意義について
- ・地域における「対話・懇談の場」について

11月18日および12月13日 木元座長、事務局が刈羽村を訪問

- ・刈羽村・市民参加懇談会「対話・懇談の場」事前打ち合わせ

平成14年

1月15日 「市民参加懇談会 in かりわ」開催 於：刈羽村老人福祉センター

- ・わたし達は今後、どういう暮らし方を選択するのか
- ・エネルギー供給のあり方は、どうあったらよいか
- ・いま、原子力発電に求められるものは何か

2月 1日 「市民参加懇談会 in 柏崎」(仮称)の趣旨説明会を柏崎にて開催

2月12日 第3回企画メンバー会合開催

- ・「市民参加懇談会 in かりわ」の結果について
- ・市民参加懇談会の果たすべき役割について(再確認)
- ・今後の地方開催のあり方について

3月29日 木元座長、碧海委員、事務局が柏崎市を訪問

- ・原子力・プルサーマルに対して、立場(推進および反対)を表明している5団体と個別に懇談

6月 3日 第4回コアメンバー会議開催

- ・柏崎市での開催に向けての取組み状況について
- ・平成13年度の活動について
- ・平成14年度における取組みについて

7月24日 「市民参加懇談会 in 東京」開催 於：四ツ谷 主婦会館

- ・日本のエネルギーの需要と供給はどうあったらいいか
- ・原子力発電は必要か、あるいは不要なのか
- ・原子力政策決定過程と市民のかかわり

9月9日 第5回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 東京」の開催結果について
- ・市民参加懇談会の今後の運営について

10月9日 第6回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 東京」の開催について

11月19日 「市民参加懇談会 in 東京」(第2回)開催 於：東京ウイメンズプラザ

- ・知りたい情報は、届いているのか
東京電力の不正記載を契機として

平成15年

1月21日 第7回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 東京」(第2回)の開催結果について
- ・次回の「市民参加懇談会」の開催について

2月28日 第8回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 青森」の開催について
- ・これまでの活動からの整理について

3月15日 「市民参加懇談会 in 青森」開催 於：男女共同参画プラザ [カナル]

- ・知りたい情報は届いていますか
核燃料サイクルについて考える

4月30日 第9回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 青森」の開催結果について
- ・これまでの活動のとりまとめについて
- ・次回の市民参加懇談会の開催について

5月21日 第10回コアメンバー会議開催

- ・これまでの活動のとりまとめについて
- ・次回の市民参加懇談会の開催について

6月3日 原子力委員会定例会議にコアメンバーより報告

「市民参加懇談会におけるこれまでの活動のとりまとめについて」

6月 9日 第11回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 敦賀」の開催計画について
- ・次々回の市民参加懇談会の開催について

6月28日「市民参加懇談会 in 敦賀」開催 於：福祉総合センター[あいあいプラザ]

- ・原子力と地域社会
原子力が地域にもたらすプラスとマイナスを考える

7月25日 第12回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 敦賀」の開催結果について
- ・次回の市民参加懇談会の開催について

8月28日 第13回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in さいたま」の開催結果について
- ・次々回の市民参加懇談会の開催について

10月14日 「市民参加懇談会 in さいたま」開催 於：ラフレさいたま

- ・「この夏の電力危機とは何だったのか」
- 電力の消費地から安定供給を考える -

11月20日 第14回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in さいたま」の開催結果について
- ・次回の市民参加懇談会の開催について

12月18日 第15回コアメンバー会議開催

- ・次回の市民参加懇談会の開催について

平成16年

2月 3日 第16回コアメンバー会議開催

- ・原子力長期計画策定準備に伴う市民参加懇談会の活動について
- ・「市民参加懇談会 in 福島」の開催について

3月16日 第17回コアメンバー会議開催

- ・第7回市民参加懇談会～長計へのご意見を述べていただく場として～の開催計画(案)について

3月27日 第7回市民参加懇談会 於：銀座フェニックスプラザ
～長計へのご意見を述べていただく場として～

4月 6日 第18回コアメンバー会議開催

- ・ 「第7回市民参加懇談会」の開催結果概要について
- ・ 「市民参加懇談会 in 福島（仮称）」の開催について

4月27日 原子力委員会定例会議にコアメンバーより報告

『「原子力長期計画に関する意見募集」、「第7回市民参加懇談会」で伺ったご意見について』

5月22日 「市民参加懇談会 in 福島・ふたば」於：パレス華の樹
・ 「原子力と暮らし」～これまでとこれから～

9月 7日 第19回コアメンバー会議開催

- ・ 「市民参加懇談会 in 福島・ふたば」の開催結果について
- ・ 次回の市民参加懇談会の開催について

以 上